

化学工業日報

2018年(平成30年)

4月4日 水曜日

第23787号(日刊、土・日・祝日除く)

廃触媒・電池・非鉄金
(Ni-Co-Mo-Sn-Cu)

創業以来45年

http://www.chem

大阪市福島区鷺洲6-1-4

超短波

◆…政府の2018年度予算が成立し「私自身、思いのこもった予算」と語るのは齋藤健農林水産大臣。大臣になって編成された初めての予算になるが、その前の2年間は副大臣、それ以前は自民党農林部会長を務めていた。この間に議論した一連の農政改革や、TPPなどを踏まえたさまざまな対策が反映されており、「われわれが行ってきた努力が盛



化学工業日報社
お問い合わせは

E-mail: info_nippov

TEL: 03(3663)7936

東海カーボンは、製鉄向け黒鉛電極とタイヤ向けカーボンブラックが2大事業で、カーボンブラックでは国内トップ。タイヤ向けカーボンブラックは国内に3カ所、中国とタイに1カ所ずつ拠点を構え、タイヤ工場に近接して生産を行っている。顧客の海外流出が進む

日本や、現地メーカーの安値攻めが続く中国と異なり、タイの業績は好調で将来性も高い。主要拠点としての基盤固めに力を注ぐ。

合金超硬スラ

副成分をリサイクル

サンクトレアメタル需要対応

サンクト(東京都江東区)は、超硬工具の製造工程などから発生する汚泥(スラッジ)の再資源化事業を加速する。レアメタルの市況高騰が進むなか、受け入れスラッジおよび再資源化処理したり

サイクル原料の正確な計量データの提供をベースとする独自のビジネスモデルを軸に顧客開拓を推進する。スラッジには主成分のタンクステン(W)のほか、コバルト(Co)やニッケル(Ni)とい

った副成分が含まれており、足元では電気自動車(EV)普及に対する期待感などでコバルトは10年来的高値圏で推移している。副成分は取引対象にならないことも多いが、ユーズ評価が可能など

イカルのメティカル事業売上高を20年度に14年度比1.8倍の1000億円とする目標を掲げている。主力の検査事業では、24億円で購入するなどの攻めのM&A(合併・買収)戦略を展開。V社には製品群拡充など買収効果を早期に発現させ、売上高ベースで年2割増の長

ジュネスモデルの優位性を訴求していく。超硬合金とは、周期律表IVa、Va、VIa族金属の炭化物を鉄やコバルト、ニッケルなどの鉄系金属で焼結した複合材料。一般的なWC(炭化タンクステン)・Co系合金をはじめ切削工具としてWC-TiC(炭化チタン)・Co系合金やWC-TaC(炭化タンタル)・Co系合金、WC-Ti-TaC(炭化チタン)・Co系合金が使われ、WC-Ni系合金やWC-Ni-Cr系合金なども実用化されている。そのリサイクルは、超硬工具メーカーなどにより使用済みの製品やスラッジから回収・再生利用する取り組みが進められている。同社は、WCなどを含むスラッジを乾燥・焙焼処理し、高品位なリサイクル原料とする前処理事業を展開。一般的に水分や油分が多いスラッジは含まれる有価物の評価が難しく、産業廃棄物として処理されるケースもある。後発となる同社は、正確な計量データを委託

加工契約先へ提供しユーズによる適正評価を可能とすることで差別化を図っている。静岡県内のグループ会社でスラッジの乾燥・焼成を行っており、年3600ト能力の処理体制を構築済み。顧客開拓の取り組みは高騰するレアメタル市況が背景にある。コバルトは年明けから市況が高騰しており、EV化の進展で電池向け需要が2030年には30倍以上に拡大するとの見通しもある。これまで超硬合金のリサイクルは主成分のタンクステンを主に取り組まれており、前処理事業ではコバルトなどの副成分は取引対象とならないケースも多々ある。同社では、正確な計量データの提供をベースとした独自のジュネスモデルにより、副成分のリサイクルニーズに対応していく。

フェーシンの入った水溶液を室温で乾かすだけで作れ、フィルム端の熱拡散率は毎秒0.63平方センチメートルに匹敵する。フィルム端の配向度が極めて高いことが優れた熱拡散性の源。M13ファイブは無毒。電子機器の冷却システムなどへの応用を見込む。

ウイリス原料に熱伝導フィルム

東京工業大学の研究グループは、ウイリスでできた熱伝導フィルムを開発した。核酸の周囲にたんぱく質が規則的に集合化した高分子集合体である繊維状ウイリス「M13

精留

米国では、新聞社の買収劇や印刷媒体をやめてデジタル媒体に特化するなどの動きがここ数年目立った。大激動、大変革の真っ只中とも表現できる状況だ。デジタル革命にどう対応するかは経済的に生き残るための

死活問題であるとはいえず、それだけではない。本質的な問題があることを最近、日本で封切られた映画で再確認した▼ステイヴン・スピルバーグ監督の「ペンタゴン・ペーパーズ」。新聞業界の一角に身を置く者として、この映画

カネカ

K